

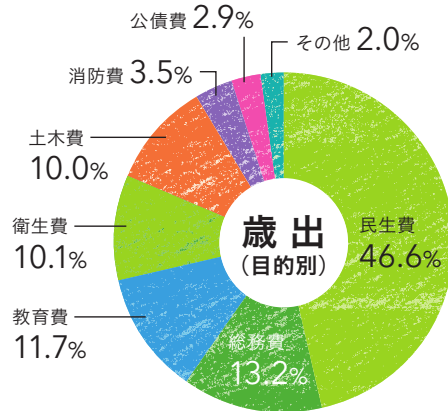
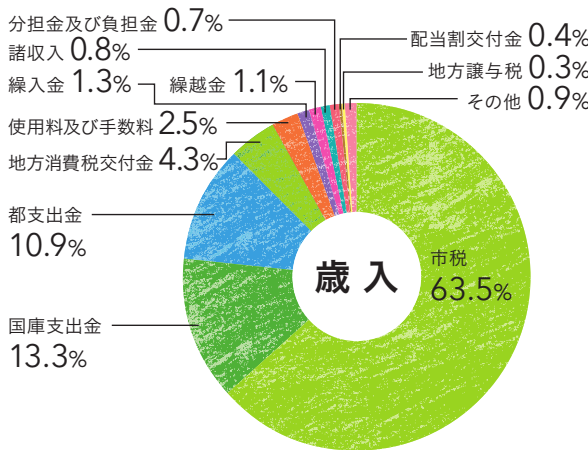
# 誰もが住み続けられるまちへ 新たな未来につなぐ予算

## 一般会計予算 635億5800万円 [前年度比1000万円増]

平成30年度の一般会計の予算規模は、前年度比1000万円増の635億5800万円となりました。第五期長期計画・調整計画の3年目として、計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら持続可能な市政運営を行っていくため、限られた財源を重点

的かつ効率的に配分することを基本に予算を編成しました。予算とは、4月から翌年3月の会計年度における収支（歳入・歳出）の見積りであり、当該年度に実施する行政サービスの内容や費用を表しています。地方自治法などに基づいて市議会に予算案を提出し、3月の市議会にて審議されます。

### 一般会計歳入・歳出予算



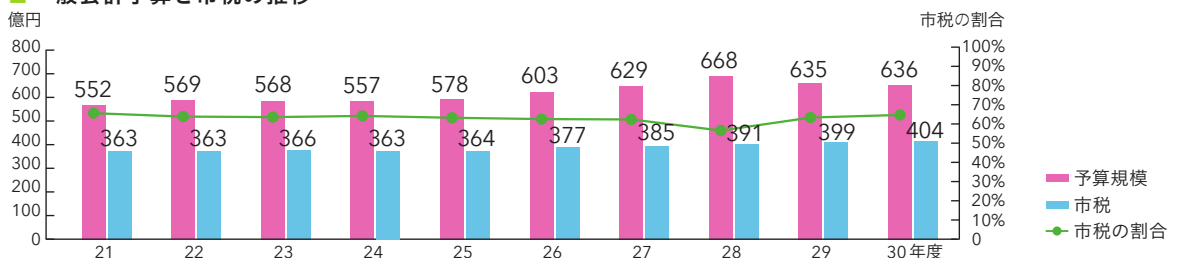
#### ■ 市税の内訳

	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
個人市民税	173億5500万円	172億6585万円	8915万円	0.5%
法人市民税	30億4680万円	31億1165万円	△6485万円	△2.1%
固定資産税	159億2020万円	155億285万円	4億1735万円	2.7%
都市計画税	25億9930万円	25億1385万円	8545万円	3.4%
その他	14億5200万円	15億4734万円	△9534万円	△6.2%
合計	403億7330万円	399億4154万円	4億3176万円	1.1%

#### ■ 主な目的別分類の説明

<b>民生費</b>	社会福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護などの経費、保育園や福祉施設の経費など
<b>総務費</b>	企画、財務、徴税、統計、住民票・戸籍などの経費、庁舎や市民文化会館などの維持管理など
<b>教育費</b>	市立小・中学校の管理運営、図書館・武蔵野プレイス・総合体育館などの管理運営など
<b>衛生費</b>	各種検診や予防接種などの保健・医療・健康づくり事業、ごみの収集・処理、公害対策など
<b>土木費</b>	道路・公園の整備や維持管理、計画的なまちづくりに要する経費など

#### ■ 一般会計予算と市税の推移



## 市民1人当たりの予算額 [ ]は前年度予算

市民の人数

14万4902人

平成30年1月1日現在

1人当たりの予算額

43万8627円

[44万1416円]

●高齢者、障害者福祉などのために

11万5891円

[11万6590円]



●子育て支援のために

9万2798円

[8万4512円]



●学校教育、図書館やスポーツ振興に

5万1252円

[5万7285円]



●道路、公園整備などまちづくりに

4万4311円

[4万2782円]



●行政運営のために

4万395円

[4万9139円]



●ごみ処理、環境保全のために

2万7793円

[2万5142円]



●市民の健康を守るために

1万7447円

[1万6844円]



●消防、防災対策に

1万5555円

[1万4969円]



●市債（借入金）の返済に

1万2761円

[1万3039円]



●文化、コミュニティ、国際交流のために

1万2242円

[1万2488円]



●商業振興や消費者保護のために

3394円

[3671円]



●市議会運営に

3245円

[3258円]



●その他

1543円

[1697円]



## 基金(市の貯金)の状況

区分	平成30年度末 残高見込	平成29年度末 残高見込
財政調整基金	61億 352万円	61億 217万円
特定目的基金		
公共施設整備基金	136億7836万円	138億4742万円
学校施設整備基金	113億3172万円	114億9389万円
吉祥寺まちづくり基金	42億6579万円	43億3703万円
公園緑化基金	43億9206万円	44億1552万円
その他	11億6787万円	12億7945万円
下水道事業基金	7億2934万円	7億1090万円
介護給付費等準備基金	4億2074万円	4億2096万円
合計	420億8940万円	426億 734万円

公共施設や学校などの整備・更新の財源として活用するため、公共施設整備基金や学校施設整備基金などを設け、積み立てを行っています。

## 特別会計などを含めた借入(市の借金)の状況

区分	平成30年度末 残高見込	平成29年度末 残高見込
一般会計	143億 986万円	159億2083万円
下水道事業会計	83億7026万円	82億9781万円
土地開発公社	77億5698万円	71億7013万円
合計	304億3710万円	313億8877万円

道路や公園、学校など長年にわたり使用する施設の建設費や土地購入費の資金を借入れ、毎年公債費として返済をしています。多額な支出による財政負担を年度間で平準化することと、将来の市民にも公平に費用を負担していただくという考えにより借入れを行っています。

## 一般会計歳出予算の主な性質別予算額

区分	平成30年度	構成比率	内容
扶助費	164億7901万円	25.9%	福祉、医療給付費など
物件費	157億5689万円	24.8%	物品、光熱水費、委託料など
人件費	93億7232万円	14.7%	職員給与、議員報酬など
補助費等	71億6395万円	11.3%	市民や各種団体への補助金など
投資的経費	64億5587万円	10.2%	道路や学校などの施設整備費など
繰出金	57億1875万円	9.0%	特別会計に繰り出す負担金
公債費	18億4911万円	2.9%	借入金の返済など
その他	7億6210万円	1.2%	維持修繕費、貸付金、積立金など

## 会計別予算額

会計名	平成30年度	平成29年度	増減率
一般会計	635億5800万円	635億4800万円	0.0%
下水道事業会計	27億7994万円	28億1671万円	△1.3%
国民健康保険事業会計	130億3175万円	152億9678万円	△14.8%
後期高齢者医療会計	36億9951万円	35億 50万円	5.7%
介護保険事業会計	113億7664万円	109億9706万円	3.5%

## 水道事業会計予算額

区分	平成30年度	平成29年度	増減率
収益的収入	37億3895万円	37億5699万円	△0.5%
収益的支出	36億9553万円	36億4666万円	1.3%
資本的収入	4833万円	1299万円	272.2%
資本的支出	8億5600万円	8億4336万円	1.5%

## いきいきと健康な生活を送るために

● **予防接種事業** **LEVELUP**  
 ～おたふくかぜ予防接種の費用助成～ \*4億4610万円  
 四種混合、麻しん風しん、日本脳炎、高齢者インフルエンザなどの定期接種を実施し、感染症まん延を予防する。任意接種のおたふくかぜ予防接種の費用助成を行い、自己負担の軽減と接種率の向上を目指す。



● **妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の推進** **LEVELUP** \*2億1931万円  
 保健師などの専門職が、妊産婦とその家族に寄り添い支援を行う中で、産後訪問を早期に実施するなど、妊娠期から子育て期まで切れ目のないきめ細かい支援を行う。

● **がん検診等事業の推進** 1億5893万円  
 ● **自殺防止に向けた計画策定** **NEW** 351万円

## 子ども・教育

### 子ども子育て応援宣言のまちへ

● **保育の質の確保と待機児童解消を目指して** **LEVELUP**  
 ① **認可保育所3園の新規開設** 6億6503万円

2年後の待機児童数ゼロを実現するために、平成31年4月の開設に向けて、市有地、民有地を活用して保育所3園の新設を目指す。(定員約250名増予定)



リズム運動で楽しく

② **認証保育所2園の新規開設** 6000万円  
 平成31年4月の開設に向けて、認証保育所2園の新設を目指す。(定員約70名増予定)

③ **企業主導型保育事業に対する支援** 2171万円  
 市民の受け入れを行う企業主導型保育事業者に対して支援を行い、市民が安心して利用できる保育施設の拡充を図る。

④ **病児・病後児保育施設の新規開設** 1710万円  
 吉祥寺地域において、定員8名の施設を整備する。

⑤ **保育の質向上の取組み** \*1248万円  
 保育従事者を対象とした研修を継続するほか、重大事故防止のための巡回支援指導員の新規配置などによる指導検査体制の充実などにより、保育の質のさらなる向上を図る。

● **私立幼稚園等園児保護者に対する補助** **LEVELUP** \*3億4155万円  
 幼稚園の入園料補助金を3万円から5万円に増額して、教育・保育施設利用の選択の幅を広げる。

● **一時預かり事業(幼稚園型)の充実** **LEVELUP** \*4603万円  
 長時間保育を必要とする家庭も幼稚園を利用しやすくなるため、おおむね年間250日開園するなど充実した事業を行っている幼稚園に対しても補助を行う。



預かり保育の様子

平成  
30年度

## 特徴ある事業

**NEW** 新規事業  
**LEVELUP** 拡大・充実事業(予算額に「\*」のある事業は、既存事業の金額も含んでいます。)

## 健康・福祉

### 誰もが地域で安心して暮らし続けるために

● **看護小規模多機能施設の開設支援** **NEW** 3893万円  
 在宅の中重度の要介護者を支える方策として、看護小規模多機能型居宅介護施設を開設する事業者に対して支援を行う。

● **シニア支え合いポイント制度の拡充** 392万円

● **地域包括ケア推進**  
 人材育成センター(仮称)の開設 **NEW** 1181万円  
 専門職や地域の担い手も含めた福祉人材育成と確保を目的に開設する。平成30年10月開設予定。人材の発掘・養成、就業の支援、質の向上、人材確保に向けた事業所・団体の支援などを実施する。

● **第4次地域福祉活動計画の策定** 500万円

● **在宅医療・介護連携推進事業** 831万円

● **いきいきサロン事業** **LEVELUP** \*874万円

高齢者の社会的孤立感の解消と健康寿命の延伸を図り、住み慣れた地域で在宅生活を送ることができるよう、高齢者の通いの場を開設・運営する団体に対して支援を行う。



いきいきサロン

● **高齢者等緊急訪問介護事業(レスキューヘルパー)の拡充** **LEVELUP** 84万円

● **生活困窮者自立支援事業** **LEVELUP** \*3611万円

● **障害者支援施設の開設支援** **NEW** 3550万円

・平成30年度未開設予定  
 ・吉祥寺北町5丁目(旧北町自転車保管場所跡地)  
 ・(仮称)吉祥寺北町障害者支援施設  
 ・定員:入所支援40名、通所支援10名



完成イメージ

● **発達障害者への支援の充実** **LEVELUP** 2700万円  
 発達障害者に対して、地域で生活する上で必要な日常生活の支援、相談、創作活動支援、地域交流の機会の提供などを行うため、地域活動支援センターI型を新設する。

● **引きこもりサポート事業の充実** **LEVELUP** \*597万円

● ICTを活用した教育の充実

小・中学校においてタブレット、電子黒板などのICT機器を積極的に活用した教育を推進する。



理科の授業でタブレットを活用する様子

1億5949万円

● 不登校対策の総合的検討 **LEVELUP** \*429万円

● 個別支援教室の運営 **LEVELUP** \*2281万円

通常の学級での学習において支援が必要な児童を対象に、個々の理解に合わせて、個別支援教室で補習指導を実施する。平成30年度は第四小学校・桜野小学校に新設し、全小学校で実施する。

● 特別支援教室運用の実践的調査研究 **NEW** 90万円

● 第三期学校教育計画の策定 417万円

文化・市民生活

誰もが集い、つながるコミュニティを目指して

● コミュニティ活動の推進 **LEVELUP** \*5億2382万円

16のコミュニティ協議会によるコミュニティセンターの管理運営を支援する。バリアフリー化を促進するため、御殿山コミュニティセンターにエレベーターを設置し、桜堤・けやきコミュニティセンターのエレベーター設置に向けた設計を行う。

● 第四次男女平等推進計画の策定 297万円

歴史の継承と市民文化の醸成に向けて

● 文化振興基本方針(仮称)の策定 288万円

● 吉祥寺図書館のリニューアルオープン **LEVELUP**  
～指定管理者制度の導入～ \*1億4184万円

リニューアルにあわせ、指定管理者制度を導入し、開館日・開館時間を拡大するなど、利用者サービスを向上させる。



吉祥寺図書館

● むさしのサイエンスフェスタの開催 299万円

● ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイスの管理運営 5億4777万円

● 武蔵野ふるさと歴史館の管理運営 6474万円

● 文化財保護普及事業 2350万円

● 図書館基本計画の改定 268万円

地域産業の活性化と都市観光の充実

● 観光振興事業 **LEVELUP** \*7625万円

① まちの魅力発信と観光客受入環境の整備

多様なまちの魅力を積極的に情報発信するために、案内マップのリニューアルや地域のアニメ作品と連携したイベントの開催などを行うとともに、ガイド育成や外国語メニュー作成支援など増加する観光客に対する受入環境の整備も行う。

② 武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクト

子どもの健やかな育ちを支える

● ひとり親家庭訪問型学習・生活支援事業 **NEW** 474万円

● 子育て支援事業 3111万円

子育て家庭、子育て支援活動団体・支援者をサポートする各種事業を実施する。

● 青少年活動と育成の充実 **LEVELUP** \*3633万円

家族自然体験事業、中高生リーダーの養成、青少年関係団体の支援、善行表彰などを実施し、青少年の健全育成と地域の活性化を図る。若者サポート事業においては引きこもりサポート事業と一体的に相談機能および居場所機能の充実を図る。



境冒險遊び場公園

● 学童クラブ事業の充実 **LEVELUP** \*4億7910万円

支援の必要性が高い、障害のある児童の入会対象学年の上限を4年生から5年生に拡大する。また、入所児童数の増加に対応するため、五小こどもクラブを増設する。



学童クラブの様子

● 第五次子どもプラン武蔵野の策定 1049万円

すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての子育てで家庭が安心して子育てできるように、子どもに関わるすべての施策・事業を取り込む【第五次子どもプラン武蔵野(平成32～36年度)】を2カ年で策定する。

教育環境の整備と個に応じた教育

● 学校給食施設の整備 **NEW** 1億4582万円

児童・生徒数の増加に対応し、学校給食桜堤調理場の建て替えに向けた基本設計、実施設計を行うとともに、小学校の調理施設の改修工事を行う。



給食調理の様子

● 市立小学校児童増加への対策 **LEVELUP** 1億2011万円

児童の増加に対応するため、関前南小学校パソコンルームの普通教室化などの工事および桜野小学校ホール改修工事を行う。大野田小学校では、校務センター拡張などの工事を行うほか、児童数の増加に応じて必要となる工事について実施設計を行う。

● 学校施設整備基本計画(仮称)の策定 2385万円

● 学区編成審議会の設置 **NEW** 368万円

児童数の大幅な増加が予想される学区について、適切な教育環境を確保するため、学区編成審議会を設置し、学校施設や地域コミュニティなど総合的な観点から学区の見直しを行う。

● 小学校外国語教育の充実 **LEVELUP** \*2878万円

小学校の「外国語」の教科化などに対応するため、英語教育推進アドバイザーが小学校を巡回し、指導を行う。また、3年生以上の「外国語活動」の授業に外国語指導助手(ALT)を配置し、外国語によるコミュニケーション能力のさらなる向上を図る。



## 2年後に迫る！オリンピック・パラリンピック

● **ホストタウン事業の推進** **LEVELUP** 898万円

ルーマニアのホストタウンとしての機運を高めるため、各種啓発事業などや、ルーマニア・ブラショフ市へ市民団を派遣しての文化交流を行う。

● **実行委員会による取り組み** **LEVELUP** 500万円

● **Sports for All 事業の実施** **LEVELUP** \*1000万円

誰もが一緒にスポーツに親しめる環境づくりを目指して、「Sports for All」事業を実施する。オリンピック・パラリンピック競技などを通じて、市民の心に残る体験を提供していく。



Sports for All カヌー体験

● **市の魅力再発見・発信事業** **LEVELUP** 499万円

市民とともに市の強みや魅力を再発見し、国内外へ発信する。市民ワークショップの開催や、市内関係団体などの協力を通じて、動画およびパンフレットを作成し、市の魅力を発信していく。

● **オリンピック・パラリンピック教育の推進** **LEVELUP** \*1083万円

オリンピック・パラリンピック教育推進校として、国際交流につながる取り組みなどを行う。パラリンピック競技団体や障害者アスリートによる授業を実施し、障害者スポーツを体験する機会を設ける。子どもたちがスポーツを好きになり、体力・運動能力を向上していけるよう、ラグビーの導入などの授業支援を行う。



北京オリンピックバレーボール女子日本代表の櫻井由香さんによる授業支援の様子

● **運動習慣の定着化に向けた取り組み** 50万円

● **観るスポーツ・体験するスポーツ推進のための陸上競技場改修工事** **LEVELUP** 2億2011万円

スポーツ振興計画に基づき、利用者の利便性向上を図り、「観るスポーツ」を推進するため、陸上競技場の3階観覧席の改修やスコアボードの設置、ラグビーゴールの更新、芝の張替え、陸上競技場の第三種公認の継続に向けた整備を行う。

## 緑・環境

### 美しい緑豊かなまちづくり

● **緑と水のネットワーク事業** 1億6370万円

① **公園等建設事業**

鎌田公園の改修や木製複合遊具の更新、バリアフリー基本構想による後期特定事業、公園施設長寿命化計画による公園施設の更新などを実施する。



木製複合遊具の更新例 (市立こうちゃん公園)

② **千川上水整備事業**

③ **仙川水辺環境整備事業**

● **二俣尾・武蔵野市民の森の充実と奥多摩の森林整備** 903万円

● **農業振興事業** 2349万円

● **創業・中小規模事業者等への支援** 7709万円

● **産業振興計画の改定** 640万円

## 平和の尊さを次世代へつなぐ

● **平和啓発事業** 359万円

戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていくため、さまざまな平和啓発事業を市民とともに推進する。平和の日(11月23日)の講演会、戦争体験の聞き取りや、5月の憲法月間記念行事では憲法への関心と認識を深めてもらう事業を行う。



憲法月間記念行事の応募作品の展示



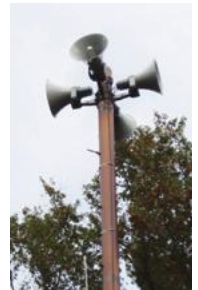
平成29年度に実施した青少年平和派遣事業

● **中島飛行機関連資料の翻訳と企画展の開催** **LEVELUP** 1032万円

## 災害への備え 安全・安心な住環境の確保

● **防災行政無線のデジタル化** **LEVELUP** 9372万円

平成30、31年度の2年間で防災行政無線(同報系)のデジタル方式への変更を行う。



防災行政無線(スピーカー)

● **災害時の通信体制強化** **LEVELUP** 1172万円

● **計画的な消火栓の改修工事** 4765万円

● **まちの安全対策の充実** 1億2089万円

ホワイトイーグル、ミッドナイトパトロール隊、市民安全パトロール隊による防犯パトロールやブルーキャップによるつきまとい勧誘行為の指導など、24時間体制で、市民の安全安心の維持に努めていく。



歳末特別環境浄化推進パトロール

● **空き家対策のための計画策定** 528万円

空き家等対策計画(仮称)検討委員会による検討を踏まえ、空き家等の予防、管理、利活用を含めた総合的な対策計画を策定する。

● **民間住宅耐震化促進事業** (耐震アドバイザー派遣、耐震化助成) 1億727万円

平成32年度末までに住宅の耐震化率95%を達成するため、住宅やマンションの耐震化に要する費用の一部助成や専門家の派遣による支援などを行う。

● **特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業** 8億8163万円

- **吉祥寺グランドデザインの改定** 1091万円  
策定から10年が経過した「吉祥寺グランドデザイン」の平成31年度の改定に向けて、改定委員会、ワークショップおよびオープンハウスなどを開催し、30年後を見据えた吉祥寺ブランドの方向性について議論を重ねる。

## 安全で快適な都市空間づくり

- **都市計画マスタープランの改定準備** 511万円  
まちづくり・都市計画の基本方針である都市計画マスタープランの平成33年度改定に向けて、社会情勢の変化、都市計画や関連制度の改正、長期計画や吉祥寺グランドデザインなどの関連計画の改定を踏まえた課題整理と達成状況の整理などを行う。

- **小型街路灯LED化事業** **NEW** 1億7611万円  
平成30年度から3年間で市内約6000基の小型街路灯をLED化し、照度アップによる安全安心の向上およびCO<sub>2</sub>排出量削減などによる環境負荷の軽減を図る。



LED化された小型街路灯

- **生活道路等交通量調査** **NEW** 764万円
- **景観まちづくりの展開** 200万円

## 行・財政

### 健全で持続可能な市政の運営

- **第六期長期計画の策定** **NEW** 2479万円  
平成32年度からの10年間で展望した武蔵野市第六期長期計画を、市民委員で構成される策定委員会を中心に、多様な市民参加を実施しながら2カ年度にわたり検討し、策定する。

- **公共施設等総合管理計画の推進** 180万円
- **自治基本条例(仮称)の検討** 105万円  
市民参加や市政運営に関する基本的なルールを定めるため、自治基本条例(仮称)に関する懇談会で取りまとめる骨子案に基づき、条例化の検討を進める。

- **市報の多言語化** **NEW** 58万円
- **市民と市長のふれあいトーク** **NEW** 81万円  
従来の「タウンミーティング」を見直し、これまでのどなたでも参加できる多人数型の形式に加え、テーマに即した少人数型の対話を公開の場で行うなど、市民との対話を通じて、地域の課題などさまざまな意見や提案を聴き、今後の市政運営に生かしていく。



市民と市長のふれあいトークの様子



市の予算に関する資料は、市役所市政資料コーナーやホームページなどをご覧ください。

- **生物多様性基本方針の推進** **NEW** 662万円
- **緑の基本計画の改定** 671万円

### クリーンセンターを軸に展開する「スマートシティむさしの」

- **武蔵野クリーンセンター建設・周辺整備事業** 8億7126万円

旧施設工場棟の解体工事を完了し、新管理棟、連絡通路などの工事に着手する。施設・周辺整備協議会や地域住民などの意見を踏まえながら、施設・周辺整備の検討を進め、新施設を核とした周辺地域のより良いまちづくりを実現する。



武蔵野クリーンセンター

- **環境啓発施設の整備検討**  
～エコプラザ(仮称)開設に向けて～ 3290万円
- **エネルギー地産地消最適化事業** **NEW** 1500万円  
現在売電をしているクリーンセンターごみ発電による夜間電力を有効活用し、市域における二酸化炭素排出量を削減するため、エネルギー地産地消最適化の検討を行う。
- **効率的なエネルギー活用推進助成事業** 1340万円
- **ごみ収集総合的検討事業** 1737万円  
資源ごみの収集頻度や地区割の変更、店頭回収に関する新たな制度の創出、集団回収制度の見直しなどについて、早期に実現する。

## 都市基盤

### 暮らしを支える上・下水道

- **配水管網整備推進事業** 3億 609万円
- **女子大通り幹線管きょ更生工事** 3億 500万円
- **石神井川排水区雨水幹線整備事業** 1534万円
- **臭気抑制対策助成事業** 750万円
- **下水道ストックマネジメント計画の策定** 2994万円
- **下水道事業の公営企業会計への移行** 5985万円

### 魅力ある駅周辺環境の創出

- **武蔵野駅南口駅前広場の整備** **NEW** 2億 529万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場となる東京スタジアムへのアクセス利用が見込まれる武蔵野駅南口駅前広場のバリアフリー化により、南北駅前広場の一体整備を図る。駅前総合案内板、路線バス停留所施設の上屋を設置し、武蔵野を訪れる市民などに駅周辺の主要施設案内などをより効果的に引き、路線バス利用者の利便性向上を図る。



完成イメージ

- **三鷹駅北口街づくりビジョンの推進** 1588万円